

1. 科目名 (単位数)	多文化コミュニケーション (2単位)	3. 科目番号	GELA1336
2. 授業担当教員	加藤 由香子		
4. 授業形態	講義、ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「多文化理解入門」の単位を修得した後に履修することが望ましい。		
7. 講義概要	グローバル化が進むにつれ、異なる母語・習慣・価値観をもった人々同士の多文化コミュニケーションは日常的になりつつある。本講義は、自分の視野をこのような多文化「共生社会」にむけて広げ、必要とされるコミュニケーション能力を修得することを目的とする。具体的には、多文化コミュニケーションを構成する「言語」「コミュニケーション」「文化」の3つの基本的概念を理解し、多文化コミュニケーションのしくみを理解する。次に、様々なコミュニケーション活動や教科書のエクササイズを行い、多文化コミュニケーションのスキルを理解し養っていく。最後にグローバル時代における多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分なりの意見を発信する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多文化コミュニケーションを構成する基本概念とそのしくみについて理解する。</li> <li>2. 多文化コミュニケーションのスキルを理解し身につける。</li> <li>3. グローバル時代の多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分の意見を発信できる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【アサイメント】 各回の事前学習と事後学習を参照し、予習と復習をしておく。</p> <p>【レポート課題】 第13回14回でグループ発表した内容をレポートとしてまとめ、第15回授業開始時まで提出する。詳細については、講義内で指示する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 資料は教室内またはメール等で事前に配付する。</p> <p>【参考書】 石井敏ほか著『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション-多文化共生と平和構築に向けて-』有斐閣、2013。 八代京子ほか著『異文化コミュニケーション・ワークブック』三修社、2001。 その他は、講義内で適宜紹介する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多文化コミュニケーションを構成する基本概念とそのしくみについて理解できたか。</li> <li>2. 多文化コミュニケーションのスキルを理解し身につけることができたか。</li> <li>3. グローバル時代の多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分の意見を発信できたか。</li> </ol> <p>○評定の方法 以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業への参加態度 総合点の30%</li> <li>2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の30%</li> <li>3 提出課題 (レポート等) 総合点の40%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多様な文化的・社会的背景を持つ人々との交流やコミュニケーションに興味を持つこと。</li> <li>2. 自身や周囲のコミュニケーション状況を意識して観察し、関連付けながら受講すること。</li> <li>3. 講義内容を積極的に聴き、必要に応じて自身が振り返る際に理解できる言葉・表現でノートをとること。</li> <li>4. 自身の意見や考えについて積極的に発信していくこと。</li> <li>5. 授業で配布した全てのプリントを毎回用意すること。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回の講義内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション: 授業の概要、授業の進め方	事前学習	シラバスを熟読する。
		事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方について整理しておく。
第2回	異文化コミュニケーションの基礎概念	事前学習	配布資料を読み要点をまとめておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第3回	言語コミュニケーションと文化	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第4回	コミュニケーションスタイル	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第5回	アサーティブ・コミュニケーション	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第6回	非言語コミュニケーション①種類・特徴・機能	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第7回	非言語コミュニケーション②時間と空間	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第8回	「異文化」の友人①LGBTQ	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第9回	「異文化」の友人②ダブル・ハーフ	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。

第10回	「異文化」の友人③障害者	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第11回	「異文化」の友人④難民	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第12回	グループ発表準備	事前学習	発表の草案を準備する。
		事後学習	授業中に得たコメントを整理し、発表に活かす。
第13回	グループ発表① (LGBTQ 又はダブル・ハーフの友人とのコミュニケーション)	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	発表のコメントを提出する。
第14回	グループ発表② (障害者又は難民の友人とのコミュニケーション)	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	他のグループの発表へのコメントと自身のレポートを提出する。
第15回	全体のまとめ	事前学習	既習内容について総復習をし、不明な点がないか確認しておく。
		事後学習	ノートや資料を整理する。
期末試験			